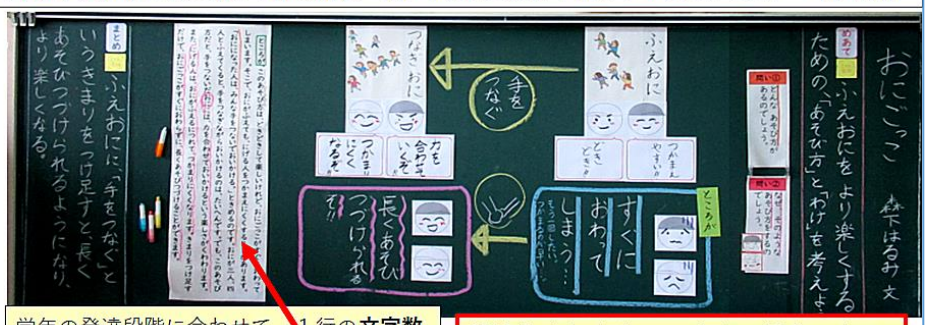
若年者（初任者）研修の公開研究授業がありました。

令和３年２月１９日（金）　篠原校長

若年者（初任者）研修は、本年度は一人当たり3回の公開授業を実施することになっています。昨日、小学部２年生の国語科の公開授業がありました。４人の初任者の先生方の本年度最後の公開授業でした。「おにごっこ」という教材で「大事な言葉に気を付けて読み、分かったことを知らせよう」という学習です。「おにごっごの楽しさとは何か。どのように遊び方を変えていくとみんなが楽しめるものになるのか」ということを読み取らせる文章です。子ども達は、「その遊び方に変えると、おにが困る（逃げる人が困る）」と自分の考えをめぐらせて発表して学習プリントにまとめていました。

小学部２年国語科 大事な言葉に気をつけて読み、分かったことを知らせよう「おにごっこ」　樋口教諭



学年の発達段階に合わせて、１行の**文字数**を考慮する。教科書は18文字、プリントは27文字、板書は40文字だった。

構造化された分かりやすい板書である。

板書している文字「**あそび方**」を活用する。

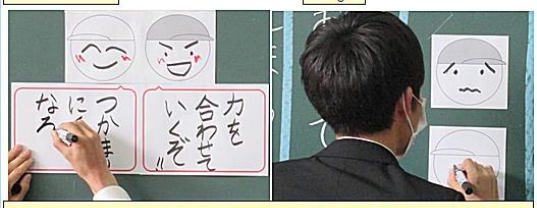
めあて

たのしくするための「**あそび方**」と「わけ」

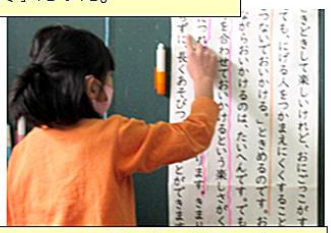
まとめ

「手をつなぐ」という**きまりをつけ足す**

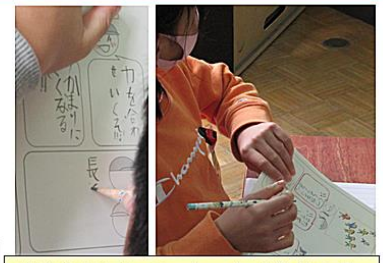
子どもへの**大事な発問は板書**して残しておく。「何を聞かれているか」「どう答えるか」を迷っている様子がある。



子どもの発言や記述をもとに教師が**その場で書き込むこと**が効果的である。

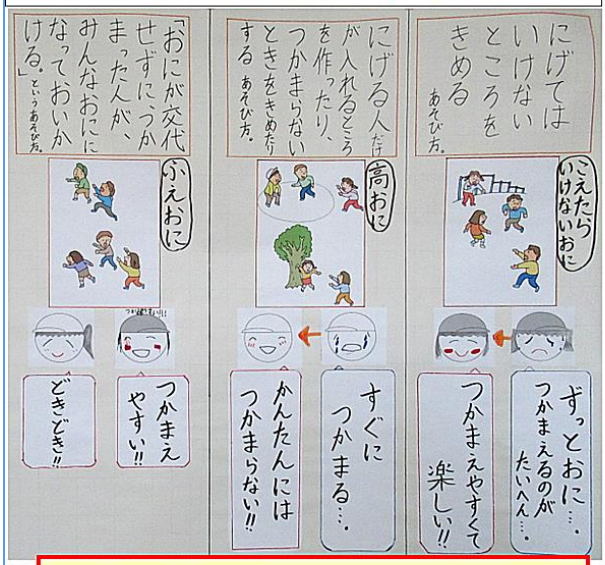


できるだけ**掲示物や絵図を使って発表させる**機会を作ると良い。聴く者も分かりやすくなる。



板書を視写していた。まず**自分の言葉で書き込む**欄と時間を用意する。

小学部２年国語科 大事な言葉に気をつけて読み、分かったことを知らせよう「おにごっこ」　樋口教諭



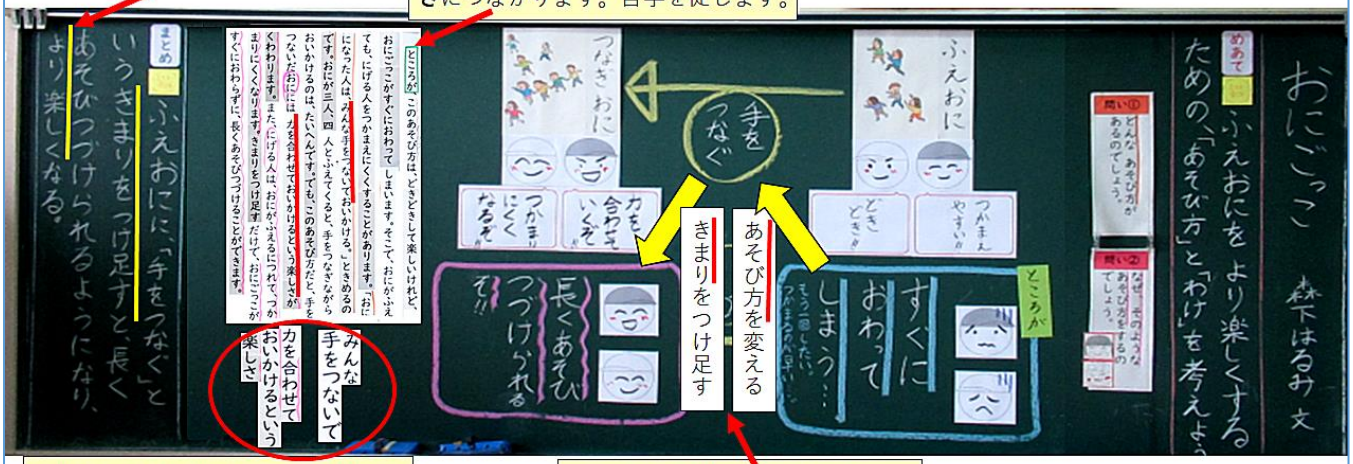
学習の過程を常時掲示しているのは良い。**表情イラスト**と**簡潔な語句**でまとめてあり良い。

遊び方を変える	逃げてはいけないところを決める	つかまらない場所や時を決める	つかまった人はみんなおにになる	おにになった人はみんな手をつなぐ
おにの立場	○逃げる人をつかまえやすくなる	▲つかまえるのが難しくなる	○おにが増えて、逃げる人をつかまえやすくなる ▲すぐに終わってしまう	▲手をつないで追いかけるのは大変 ○力を合わせて追いかける楽しさ ◎楽しく長く遊べる
逃げる立場	▲おににつかまえられやすくなる	○おにに簡単にはつかまらなくなる ○疲れた人、走るのが苦手な人が助かる	○逃げ方を工夫する ○ドキドキすることが増えて面白くなる ▲すぐに終わってしまう	○おにが増えるにつれて、つかまりにくくなる ◎楽しく長く遊べる

まとめで、特に**注目させたい語句**に線を引いて（囲って）残すと良い。

学習プリントと同じ文字数の板書用の本文を作成することが大事です。机上の資料と黒板の資料をできるだけ**同じ様式**にすることが**分かりやすさ**につながります。自学を促します。

小学部２年国語科
大事な言葉に気をつけて読み、分かったことを知らせよう「おにごっこ」　樋口教諭



重要な文章を抜き出して、表記しておく。子どもに**常に確認**させる。学習プリントにも自由に書き込めるスペースを空けておくと良い。

本文の話の展開を**矢印**で表すとイメージしやすい。
「なぜ青（不満）から赤（満足）に変わったのか」を強調して発表させる（説明を加える）。